

# ひらけゴマ!

しずおかしりつとしょかん 静岡市立図書館 Vol . 158 (2024秋号) あきごう



## えほん『パパ、お月さまとって!』

エリック＝カール / さく作 もり ひさし / やく訳 かいせいしゃ偕成社

E カル



ある晩、モニカは窓の外に見える月と遊びたくなりました。

「パパ、お月さまとって!」と頼むと、パパは大きなはしごを使って月のそばまで近づきます。しかしあまりの大きさに持ってかえる方法がわかりません。パパはお月

さまを持ってかえることはできるのでしょうか? 上下左右に開くページでは、より空や月の大きさの迫力を感じることができます。



ことわざクイズ! どないみ?

「月とすっぽん」

☆ こたえはいちばんさいごのページ

# えほん『うさぎちゃん つきへいく』

E セナ

せな けいこ / 作・絵

きん ほししゃ  
金の星社



月ではウサギがおもちをついている。そう聞いたうさぎちゃんが「つきのせかいへいってみたいなあー」とつぶやくと、窓から何か見えました。それはなんと月から迎えに来た宇宙人！先が気になるおはなしで、切り絵を使った絵もとてもかわいらしいです。

## 『月のかがく』

446

わたなべ じゅんいち かんしゅう  
渡部 潤一 / 監修

えびな みつる / 絵と文

エ

なかにし あきお しゃしん じゅんぼうしゃ  
中西 昭雄 / 写真 旬報社



月食はなぜ起きる？地球から月まで新幹線でも53日かかっちゃう？月には山も海もあって、それぞれ名前もついている？

科学的な疑問からあまり知られていないお話まで、月のいろいろな姿を知ることができます。この本を読めば、月のことをより好きになれるはず！

ほか 他にもこんな本があるよ！

446



## 『もしも月でくらしたら』

やまもと しょうぞう さく  
山本 省三 / 作

むらかわ きょうすけ かんしゅう  
村川 恭介 / 監修

ヤ

しゅっぱん  
WAVE 出版

# 『お月見のよるには』

みやかわ 宮川 ひろ／作 ふりや かよこ／絵 ポプラ社

あか913

ミヤカワ



ある山の村では、お月見の日だけ小学生はお供え物を盗んでいいことになっていました。お月見の日の小学生たちは朝からワクワク。村の人も、夜には盗みやすいところにお供え物を用意して待っています。

地域の行事で子どもと大人がふれあう、古きよき交流の形は読んでいて心があたたかくなります。

# 『月の森に、カミよ眠れ』

うえはし 上橋 なほこ 菜穂子／著 かいせいしゃ 偕成社

あお913

ウエハシ



昔の日本を舞台にしたファンタジー小説です。山奥の小さいムラと、月の森に住むカミとの〈絆〉をつなぐ『カミンマ』として生きるキシメ。カミを倒すために招かれた、オニの息子と呼ばれるナガタチ。二人は出会った夜に、それぞれの生い立ちを語り合います。ファンタジー好きなら必見です！



ほかにもこんな本があるよ！

# 『月の大研究 いちばん近くてふしぎな星』

あがた 縣 ひでひこ 英彦／監修 けんきゅうしょ PHP研究所

446

ツ

# ごまはかせ と こま太くんの どうやってしらべるの？



こま太くん

こまったなー。こまったなー。はかせ、次の月食っていつ見られるのかな？



ごまはかせ

ほほう。こま太くんはまだ月食を見たことがないのかい？

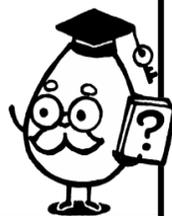


うん。テレビで昔の月食の映像が流れてて、すごくきれいで感動したから見てみたいんだ。



うむ。そんなときは、図書館に行って調べてみよう！

まず、目的の本を見つけるためには、月について知るための本がどの分類にあてはまるかじゃが…。4の分類の棚に行つてごらん。月だけでなくいろいろな天体の本もあるぞ。



あった、あった！来年になったら日本で見られる月食があるみたい。楽しみだな～。

日食もきれいでおすすめじゃぞ。サングラスなど、目を守るものが必要じゃがな！



表紙の  
こたえ

二つのものがひどく違っていることの例え。